

# 第 3 章 ダイヤルアップルータモードの使い方

パソコンから INS ネット 64 を使用してインターネットに接続するダイヤルアップルータとして利用することができます。

本商品に接続したパソコンからインターネットへダイヤルを意識せずにお使いになれます。また IP フィルタ機能や MAC アドレスフィルタ機能を利用することで高いセキュリティを確保した通信が行なえます。

使用できるプロトコルは IP のみです。その他の通信プロトコルには対応していません。

## 3.1 ダイヤルアップルータモードの機能について

本商品のダイヤルアップルータモードでは、INS ネット 64 に接続し、LAN よりインターネット宛のデータを受け取ると、自動的にプロバイダに電話をかけてインターネットに接続します。ダイヤルアップルータモードでは以下の接続形態で使用できます。

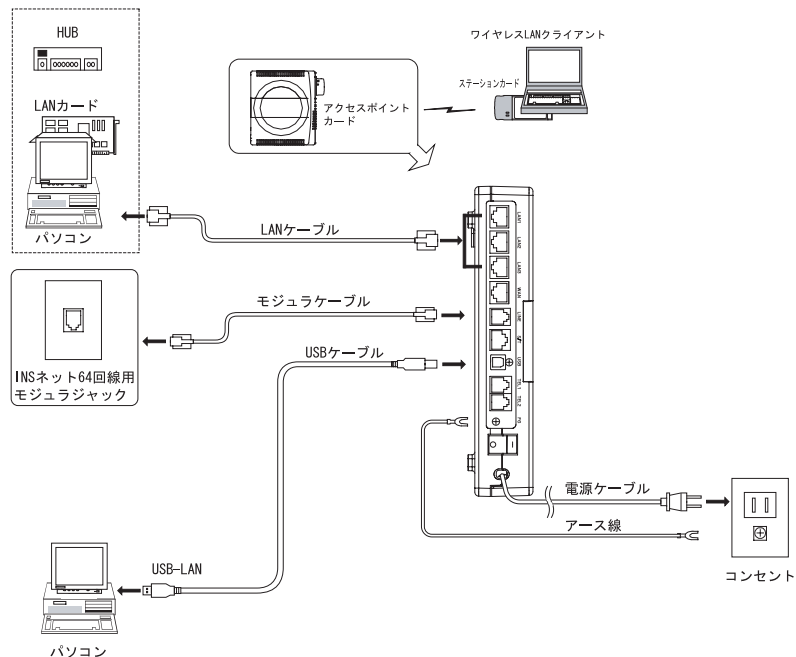
- ・ 端末型接続 (RAS 機能を含む)
- ・ LAN 型接続
- ・ 専用線接続

### 参照

- ・ 各接続形態の詳細設定項目については、それぞれのページをご参照ください。
  - 「6.1 端末型接続 (詳細設定)」 (p.6-1)
  - 「6.2 LAN 型接続 (詳細設定)」 (p.6-10)
  - 「6.3 専用線」 (p.6-13)
- ・ 各設定項目の初期値、入力文字数につきましては付属 CD-ROM 内の取扱説明書 第 2 部「9.4 LAN ポート関連設定項目」 (p.9-25) をご参照ください。

## 3.2 機器の接続

ダイヤルアップルータモードでインターネットへ接続するための機器の接続は以下の通りです。



## 3.3 ダイヤルアップルータモードの基本設定

INS ネット 64 からプロバイダに接続して、インターネットへ通信するための設定について説明します。

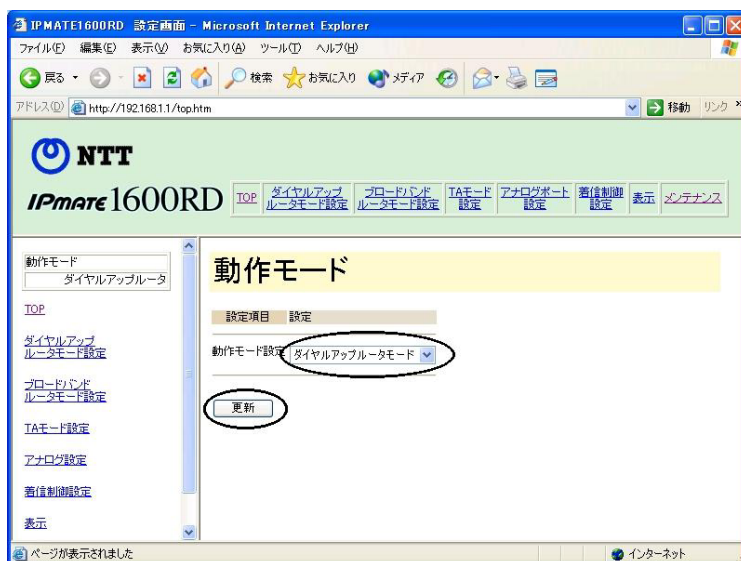
### 1 ブラウザを起動し、ブラウザ設定画面を表示します。

「2.2 IPMATE1600RD の設定」(p.2-8)をご参照ください。

#### ☆Point

- お買いもとめ時、本商品はダイヤルアップルータモードに設定されています。
- 動作モード選択の必要がない場合は手順 4 へ進んでください。

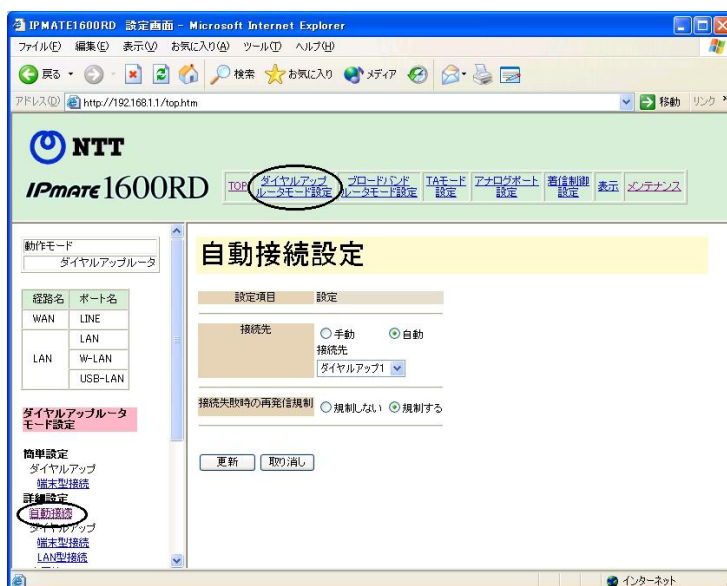
- 2 TOP画面の「動作モード設定」で「ダイアルアップルータモード」を選択し、「更新」をクリックします。



- 3 画面に「更新しました。」と表示されたら TOP画面の「設定反映」をクリックし、設定を有効にします。

「設定反映」後、本商品が再起動され、すべてのランプが橙点灯します。橙点灯が解除されたことを確認してください。

- 4 次に、「ダイアルアップルータモード設定」－詳細設定－「自動接続」をクリックします。



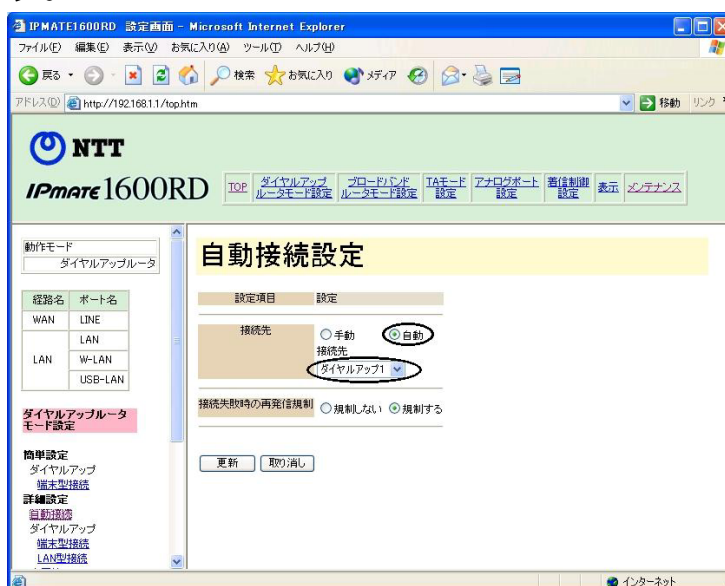
- 経路名:ダイヤルアップルータモードのルータ機能が動作する経路を表わします。

経路名	ポート名
WAN	LINE
LAN	LAN
	W-LAN
	USB-LAN

WAN: LINE ポートから、INS ネット 64 に接続します。

LAN: LAN ポート、ワイヤレス LAN (W-LAN)、USB ポート (USB-LAN) に接続したパソコン等に接続します。

- 5 表示された「自動接続設定」画面の接続先が「自動」、「ダイヤルアップ1」になっていることを確認します。設定を変更した場合は「更新」をクリックします。



## ● 接続先

- 手動: 設定画面「表示」メニューの「接続・切断」、または本商品前面の FUNCTION ボタンの手動操作で接続・切断を行ないます。
- 自動: 本商品に接続したパソコンからインターネットに向けたデータが送出されたとき、自動的にダイヤルアップ接続します。

### 接続先

自動接続する相手先を選択します。自動接続選択されている端末型接続先 (ダイヤルアップ 1 ~ 4) が「簡単設定」の対象となります。

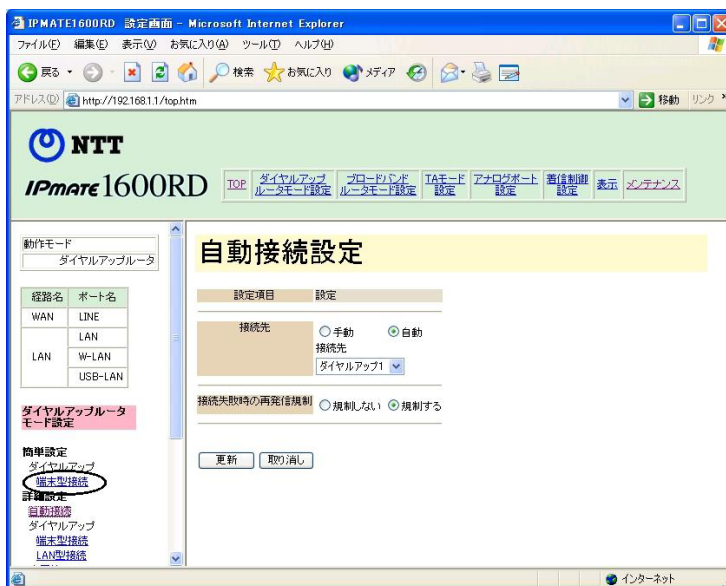
## ● 接続失敗時の再発信規制

- 規制しない: 接続失敗後、ダイヤルを規制しません。
- 規制する: 接続失敗後、ダイヤルを規制します。

### ☆Point

- 「規制する」を選択した場合、ユーザー名、パスワードの設定が間違っていたなどの理由で 3 回連続して接続に失敗すると、「自動」、「手動」の設定に関わらず、再度接続要求があっても 60 分間は再発信しません。設定内容を修正し、再度接続を行なってください。

- 6 左側のフレームで簡単設定－ダイアルアップ－「端末型接続」をクリックします。

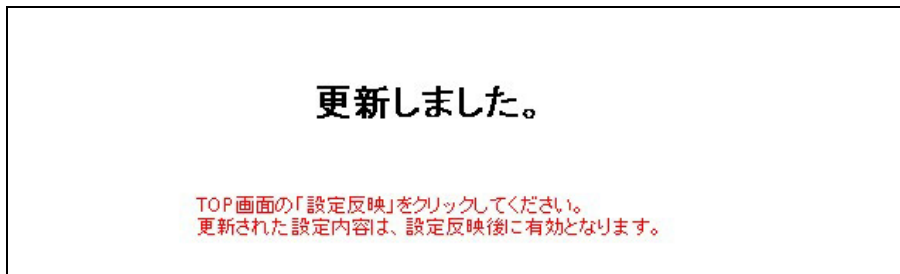


- 7 表示された「端末型接続設定（簡単設定）」でご契約のインターネットサービスプロバイダから指定された内容に従って必要な項目を入力し、「更新」をクリックします。

### 端末型接続設定（簡単設定）

<b>設定項目</b>	<b>設定</b>
フレッツ・ISDN	<input checked="" type="radio"/> 利用しない <input type="radio"/> 利用する
接続先の名前	<input type="text"/>
接続先	電話番号 <input type="text"/>
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="text"/>
DNSサーバ	<input type="radio"/> 指定 <input checked="" type="radio"/> 自動
	プライマリーIPアドレス <input type="text"/>
	セカンダリーIPアドレス <input type="text"/>
<input checked="" type="button" value="更新"/> <input type="button" value="取り消し"/>	

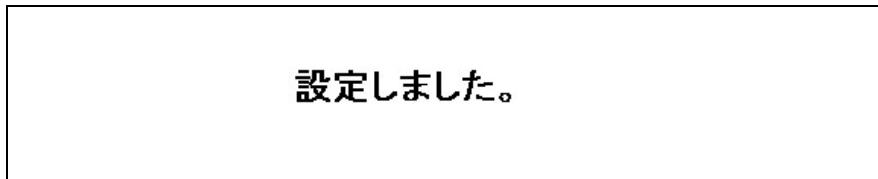
8 「更新しました。」と表示されます。



9 「TOP」 – 「設定反映」をクリックし、設定を有効にします。



10 「設定しました。」と表示されます。以上で設定が完了します。



☆Point

- 「端末型接続（簡単設定）」の初期値は、プロバイダから DNS サーバの IP アドレスを自動取得する設定となっています。ご契約のプロバイダによっては、DNS サーバアドレスの自動取得ができないときがあり、この時 IPMATE1600RD は通信を切断します。その場合は、「DNS サーバ」 – 「指定」をクリックし、プロバイダから連絡を受けた DNS サーバ IP アドレスの入力をしてください。
- 「端末型接続（簡単設定）」で表示 / 更新を行なう内容は、詳細設定 – 「自動接続先」で選択されているプロバイダの情報となります。詳細設定 – 「自動接続先」でプロバイダを変更した場合、「端末型接続（簡単設定）」で表示される情報も変化しますので、ご注意ください。
- 設定した内容を確認した時に設定内容が正常に表示されない場合は、「最新の情報に更新」（Internet Explorer）、「フレームの再読み込み」（Netscape）等の実行により最新情報に更新してください。

## 3.4 インターネットに接続する

設定完了後は、インターネットの接続に特別な操作は必要ありません。パソコン上のブラウザやメールソフトからインターネットへアクセスすると、本商品が自動的にプロバイダにダイヤルアップをして、インターネットに接続します。また、接続後、一定時間通信が行なわれないと、自動的に切断されます。

### ☆Point

- 自動切断するまでの時間は、出荷時、60秒に設定されています。設定の変更は、詳細設定で行なうことができます。付属 CD-ROM 内の取扱説明書 第2部「[6.1 端末型接続（詳細設定）](#)」(p.6-1)をご参照ください。
- 本商品に接続した他のパソコンから、誰もインターネットに接続していない場合、ダイヤルアップしてインターネットに接続するまで、少し時間がかかります。
- 自動接続設定－「手動」を選択した場合は、設定画面「表示」メニュー「接続・切断」にて接続を行なってください。

### 📖 参照

- ご利用形態に応じた設定例を本商品に付属の CD-ROM に電子文書にして添付しております。
- CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、表示されるメニュー画面「利用形態別設定例」をクリックしてください。
- 手動接続については本商品の付属 CD-ROM 内取扱説明書 第2部「[6.16.4 接続・切断](#)」(p.6-55)をご参照ください。

## 3.5 ワイヤレス LAN を使用する

別売の専用オプションカード (IPMATE1600RD-STC II) を本商品に装着し、ワイヤレス LAN 機能を有効にすると、専用オプションカード (IPMATE1600RD-STC II) を装着したパソコンをネットワーククライアントとして収容することもできます。

### 📖 参照

- 詳しくは付属 CD-ROM 内の取扱説明書 第2部「[第8章 ワイヤレス LAN の使い方](#)」(p.8-1)をご参照ください。

